

令和元年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 株式会社 アイ・ケー・エス	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 企画室 山本 郁生 TEL 0225-96-6420 FAX 0225-96-6840 E-mail i.yamamoto@e-iks.jp
代表者氏名 代表取締役社長 森田 和	
部門名 民間部門	事例名 「マンホール・エコバッグ」で買い物に！下水道に興味と親しみを！

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を注入して下さい）

1 地域に下水道への親しみや可能性を伝えたい

地域住民の下水道事業への理解促進を図るため、企業として何かできないか



興味

魅力

「いいね」
 「かわいい」
 「おもしろい」
 (女性に大好評)
 Cotton

● 地域に親和 広がる波紋

下水道について、興味と親しみを感じてもらうには生活に密着したアイテムとコラボするのが望ましいとして、エコバッグに20種類のカラフルなマンホールをデザインし「マンホール・エコバッグ」として制作しました。これを地域の皆さまやマンホールファンの方々に配り、日常の中で使用してもらうことで、それを見た周囲の人々が興味を持ち、下水道に親しみをを感じる機会と効果が伝搬することに期待しました。

距離をおかれやすい下水道を身近に変換

マンホールの人気
 全国各地のご当地マンホールはデザインが豊富で人気

エコバッグの人気
 サブバックやスーパーでのお買い物に利用(便利)。ファッション性、デザイン性が多様で年齢問わず人気

何これ マンホール？

2 施設見学やイベントに来て、見て、知ってほしい

さらに下水道に興味を持ってもらうにはどうすればよいか



● ネット検索の入り口に

マンホールデザインの下には「QRコード」を入れました。普段はネット検索の対象になりにくい「下水道」について、スマホなどで簡単にチェックできる仕組みとしました。



チェック

QRコード：宮城県HP宮城県東部下水道事務所「マンホール展示室」にアクセス可能。そこから施設見学の案内やイベントの告知に。



「流域下水道まつり」の様子

石巻浄化センターにて

施設開放イベントでの施設見学者に景品として配布(100枚)。見学者数は過去最高の548名を記録。

3 下水道への接続促進や使用料金支払いの理解に繋げたい

下水道のイメージ改善を効果的に図るにはどうすればよいか

● 直接伝える機会を増やす

拡大・展開

住民の方が施設見学をする際に、当社の見学案内者は下水道接続促進の理由やなぜ使用料金が必要なのか等について、説明の中に織り込むようにしています。

エントリー事例の特徴

「マンホール・エコバッグ」の取り組みは自治体との連携で実現

20種類のマンホールは、宮城県と4市1町*のデザインです。制作意図については、各自治体に出向き理解と賛同を得ました。また、QRコードから県のHPにアクセスすることで、地域の「下水道」について幅広く知る機会となります。この取り組みは、石巻かほく(地元新聞)、河北新報(県内版)、日本下水道新聞に紹介され、県内外の方々にも人気となり「ぜひ、売ってほしい」との声を多くいただき、当社、HPにて毎月10名様に無償プレゼントする企画を行いました。こちらも好評となり、下水道に親しみと興味を感じてもらう効果がありました。*宮城県、石巻市、東松島市、登米市、栗原市、女川町(当社、指定管理業務に係る自治体)

付属資料の提出

(あり) ・ なし (どちらかに○)